

その症状

ひょっとして認知症？

市で介護保険の認定申請をした人の原因疾患として、最も多いのが「認知症」で、全体のおよそ19%を占めています。認知症は、加齢とともに誰もがなりうる病気です。しかし、早期に発見し適切に対応すれば、悪化を予防し、進行を遅らせることができます。

問い合わせ 高齢者福祉課 寺田 ☎(23) 0074



MC Iとは認知機能に多少の問題が生じていることが確認できますが、日常生活に支障がない状態です。MC Iのときに適切な治療や予防をすることで、状態が回復したり、認知症の発症が遅延したりすることがあります。

認知症は早期の発見と対応がカギ

早期発見のめやす

<p>もの忘れがひどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ①今切ったばかりなのに、電話相手の名前を忘れる ②同じことを何度も繰り返す ③しまい忘れが増え、いつも探し物をしている ④財布や通帳、衣類などを盗まれたと人を疑う 	<p>不安定感が強い</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ひとりになると怖がったり寂しがったりする ⑥外出の時、持ち物を何度も確かめる ⑦「頭が変になった」と本人が訴える
<p>判断力や処理力が衰える</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧料理や片付け、計算、運動などのミスが多くなった ⑨新しいことが覚えられない ⑩話のつじつまが合わない ⑪テレビ番組の内容が理解できなくなった 	<p>興味がなくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑫下着を替えず、身だしなみを構わなくなった ⑬趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった ⑭ふさぎ込んで何をしてもあっくろがりにやがる
<p>判断や行動が分からない</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑫約束の日時や場所を間違えるようになった ⑬慣れた道でも迷うことがある 	<p>人格が変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑭ささいなことで怒りっぽくなった

*これは、認知症の診断基準ではありません。

気づくことが大切！

どのような症状が出たら認知症かを判断するのは難しく、「加齢のせい？」「もともとこの性格？」と考えていると対応が遅れます。公益社団法人認知症の人と家族の会が作成した「早期発見のめやす」を使い、自己の認知症の可能性をチェックしてみましょう。

認知症の初期に家族はどう対応すれば？

最初は「どこか変じゃない？」というところから始まります。本人は「自分に何かおかしいことが起きている」と自覚し、「これからどうなるだろう」と不安な気持ちになります。

そんなとき、叱責したり、間違いを正したりすると、本人が屈辱感を持ち、さらには家族に対する敵意を抱かせることにもなりかねません。本人のありのままの姿を受け止めてあげることが大切です。手に負えないときは悩みを抱え込まず、周りの人や相談機関などに相談しましょう。

「ちょっと心配…」そんなあなたを支えます

もの忘れ相談を受けてみましょう

もの忘れ相談では、頭のいきいき度チェックを行い、脳の健康具合を調べ、保健師が生活アドバイスを行います。

もの忘れ相談 (予約制・個別対応)

日時	毎週火曜日 午前9時~午前11時 (祝日は除く)
場所	第1・3・5週=さざんか 第2・4週=相良保健センター
費用	無料
申込先	健康推進課 ☎230024

*地域包括支援センターオリーブ・さがらでも、認知症に関する相談を受け付けています。

認知症に対応する専門チーム

市では認知症サポート医、地域包括支援センターや介護保険事業所の専門職で構成された「認知症初期集中支援チーム」を平成29年4月に設置しました。



早めの治療が肝心

近年、認知症の診断技術の進歩により、症状の軽い段階から認知症の診断がつき、治療を開始できます。症状によつては、薬で進行を遅らせたり、手術で症状を改善したりすることがあります。治療が早ければ早いほど効果が期待できるため、早期発見、早めの治療が肝心です。気がかりがあれば、かかりつけ医へ相談しましょう。



認知症サポーター養成講座 受講者募集中

認知症サポーター養成講座では認知症に関する基礎知識、認知症の人との接し方などについてお話をしています。認知症の人やその家族が地域の中で孤立しないよう、地域で共に暮らし自分たちに何ができるかを考えます。

認知症を正しく理解し、偏見を持たず、温かい見守りの目が増えることは、認知症の人やその家族にとって大きな支えとなります。対象者は区・町内会、企業、学校などの希望者5人程度から幅広く受講できます。ぜひ一度受講してみませんか。詳しくは、認知症サポーター・キャラバンメイト事務局(☎230074)へお問い合わせください。